

「熊本地震から4年、今思うこと」

(4年生児童)

熊本地震から4年がたちます。熊本地震では、こわくて、苦しい思いをしたことを覚えています。その時、わたしは、まだ小学校に入学していませんでした。

去年3年生の総合の時間に熊本地震を振り返る学習をしました。その中で、熊本地震のことについて、いろいろな方からお話を聞きました。地震で学校や建物や道路がめちゃくちゃにこわれたこと、多くの人が集まったひなんじょでの生活、たくさんのボランティアの方がおられたこと、そして地震の時の心がまえなどを聞くことができました。そんなお話をたくさん聞く中で、お話しされる人達が同じ思いをもっていたことに気がつきました。それは支えん、助け合うということです。お話をされる方もつらい思いをされていたのに、みんなを笑顔にしたいと思う気持ちがすごかったです。そんな思いをもてることがとてもうらやましかったです。熊本地震のときは、自分がそんな支えんの気持ちを持てるじょうきょうじゃなかったから、自分のことばかりで何もできなかったです。だから、次にできることがあれば、全力でみんなを笑顔にしたいと思っています。

そして防災マップもつくりました。災害があったとき、一人でも多くの命を救えるようにと気持ちをこめてつくりました。

これからは、しっかりと周りを見て、こまっている人、まよっている人、そういう人を見かけたら、少しでも助けることができるようになりたいと思います。

「熊本地震をふり返って」

(6年生児童)

今日で、熊本地震から4年がたちます。みなさんは、どんなことを思っていますか。

わたしは地震を経験して、学んだこと、伝えたいと思ったことが3つあります。

1つ目は、「地震の怖さ」です。私は、地震で家具やたくさんのがたおれたり、こわれたりしました。家は、大丈夫でしたが、余震が来るたびにとても怖い思いをしたことを覚えています。私は、グランメッセに避難し、車中泊をしました。当たり前だと思っていた生活が、とてもありがたいことだということに気がつきました。これからは、地震やそのほかの災害に備えて、できることはしたいと思いました。

2つ目は、「助け合うことの大切さ」です。グランメッセに避難をしたときに、友達と会えたときは、すごく喜び合いました。避難所では、水や食料を提供してもらって、うれしかったです。たくさんの支援物資が送られてきたり、多くの人達が応援に来てくれたりして、私たちを勇気づけてくれました。私も、同じように困った人がいたら、助けてもらったことを思い出して、助けたいと思いました。

3つ目は、「命の大切さ」です。地震によって、亡くなった人たちや悲しんだ人たちがたくさんいました。生きたくても生きられない人たちがいました。

地震を経験した私たちにしかできないこと。それは、地震から学んだことをたくさんの人達に伝え、未来につないでいくことです。

これからは、「復幸」に向けて、自分たちにできることを考えながら、一步をふみ出そうと思います。